

刊 夕



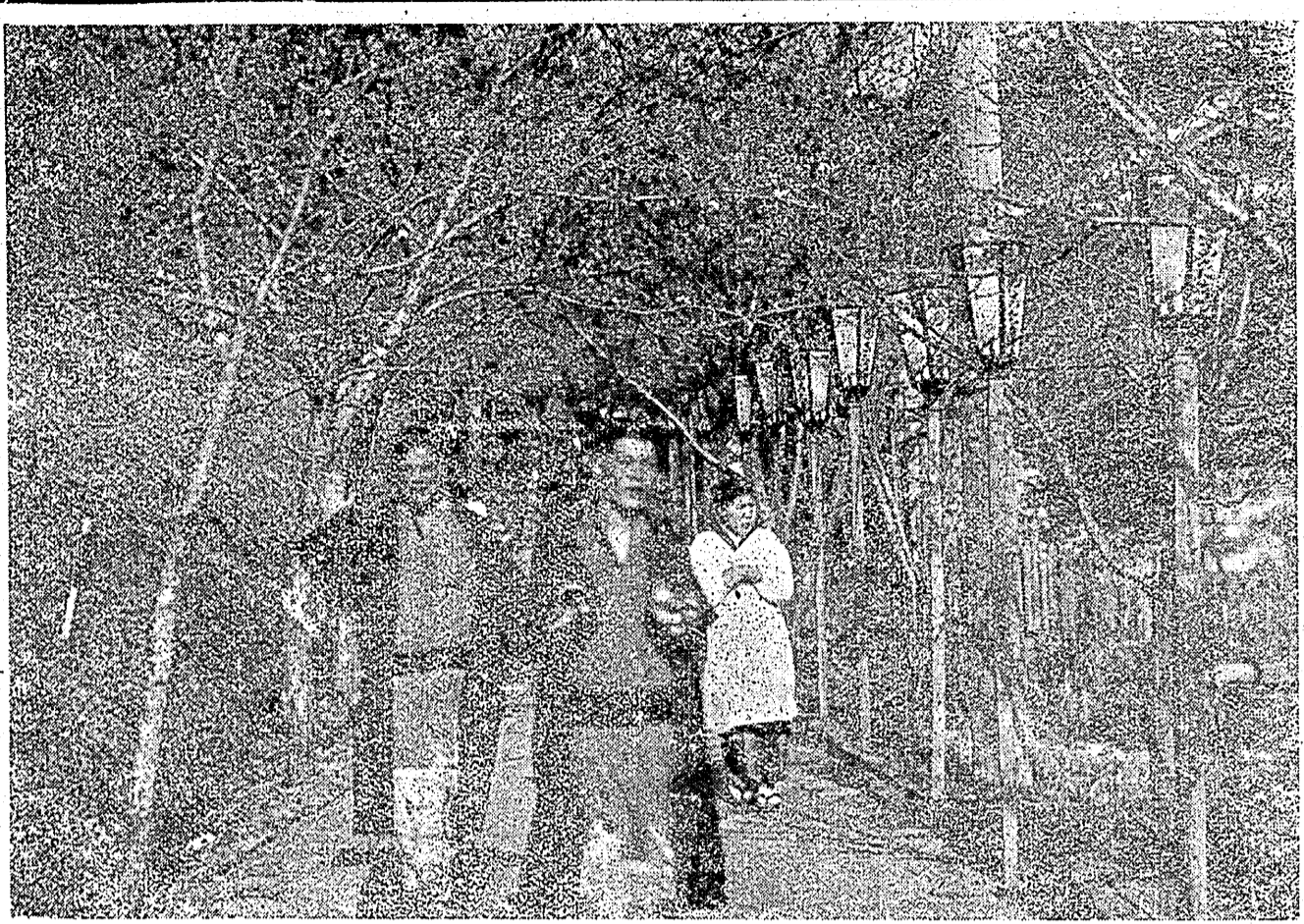
日六十月 四
發行所 伊藤 謙水
印刷所 南町五九
全行所 常務 明社
日贈 祭日 日休刊
部二 部一 部三
部四 部五 部六
部七 部八 部九
部十 部十一 部十二
部十三 部十四 部十五
部十六 部十七 部十八
部十九 部二十 部二十一
部二十二 部二十三 部二十四
部二十五 部二十六 部二十七
部二十八 部二十九 部三十
部三十一 部三十二 部三十三
部三十四 部三十五 部三十六
部三十七 部三十八 部三十九
部四十 部四十一 部四十二
部四十三 部四十四 部四十五
部四十六 部四十七 部四十八
部四十九 部五十 部五十一
部五十二 部五十三 部五十四
部五十五 部五十六 部五十七
部五十八 部五十九 部六十
部六十一 部六十二 部六十三
部六十四 部六十五 部六十六
部六十七 部六十八 部六十九
部七十 部七十一 部七十二
部七十三 部七十四 部七十五
部七十六 部七十七 部七十八
部七十九 部八十 部八十一
部八十二 部八十三 部八十四
部八十五 部八十六 部八十七
部八十八 部八十九 部九十
部九十一 部九十二 部九十三
部九十四 部九十五 部九十六
部九十七 部九十八 部九十九
部一百

桜花禮讚

時は、單に物好きの仕業視は春である、まさに春で
された。それが十五星霜をある。富ヶ浦、櫻は既に笑
顔して今、満山櫻花に包み町民を慶ぐ、この歡樂に
全町の歡樂化したこと浸るの、町民の興へられ
は、消防組としても、町民の權利である。飲め、唄へ
と、激しくなればなる程反
ふことも感激的な同願に酔浸れ！ 而して春を満喫し
ふことが出来るであらう。明日の活動に奮せ！

富ヶ浦 生みの親 歡樂境 志賀立花正副組頭

今はなき思ひ出語り
浦公園の宣傳、並に花柳界は一銭も儲かるものでなく
方面の紹介を目的として本全く奉仕の氣分であつた
社にこの特輯號を企て、本がこれに不測に終つてしま
町有志及び業者を歴訪してつた筆者在痛感したことは
贅意を求めた、そして花柳小名濱花街方面で組合とし
界方面の支援のもとに目的も個人としても今少し宣
の達成を圖らうとしたが此傳に意を用ひられた事
の點で坐折してしまつた。ある、その宣傳費はやがて
先づ小名濱遊藝組合に現 幾層倍かになつて戻つて來
在第一線に活動してある藝者にと心掛て貰ひたいと
妓諸姉の寫眞を櫻花の中に等紙の使用も御婦人の方の寫
入れ掲載すべく相談してみ眞々載せざる限り其の必要
た。寫眞を持たざる人ならばがく従つて普通の新聞ザ
無料に寫眞を撮り、銅版料ラを用ひた。この點後接者
として一人當り金一圓を出各位の御諒承を願ふ所以
して貰ふことである、そしある



(部一の園公浦ヶ富 町濱名小)

なく、時が來り櫻花咲き匂の消防組頭志賀義次氏、だつたと當時の會計佐伯三
へば心ゆくまで花の下に遊組頭立花典次郎氏等の町民は回想して語つてゐる
び戯れる、而して其の傾向への眞士氣と見ることが出現組頭松本徳次郎氏並に幹
は益々強くなる、自然がさる、大正八年秋野口竹次郎が發起となり昨年公園の
うさせるといふより世の類 郎氏設計の下に起工され小大廣場に志賀組頭の徳徳碑
難さを避けやうとする近代 消防組の事業として組を建設したことは左もあ
人の強い熱求であらう。 町自ら所有の山林二反六畝べきこと悦びに堪えない
小名濱町に富ヶ浦公園を計 十九歩を寄附し組頭が陣頭か、當時の志賀組頭が立花
劃して時の消防組頭志賀 立花副組頭と共に登副組頭を一度は組頭にせね
義次氏が組員を引具して私 部が持辨當り開拓したものはならぬと口辯に云つて
財を授け、荒山を征服した 其の間組員の勞をねぎらたにもか、はらず其の實現
をそれには縣社のお祭り縣下聯

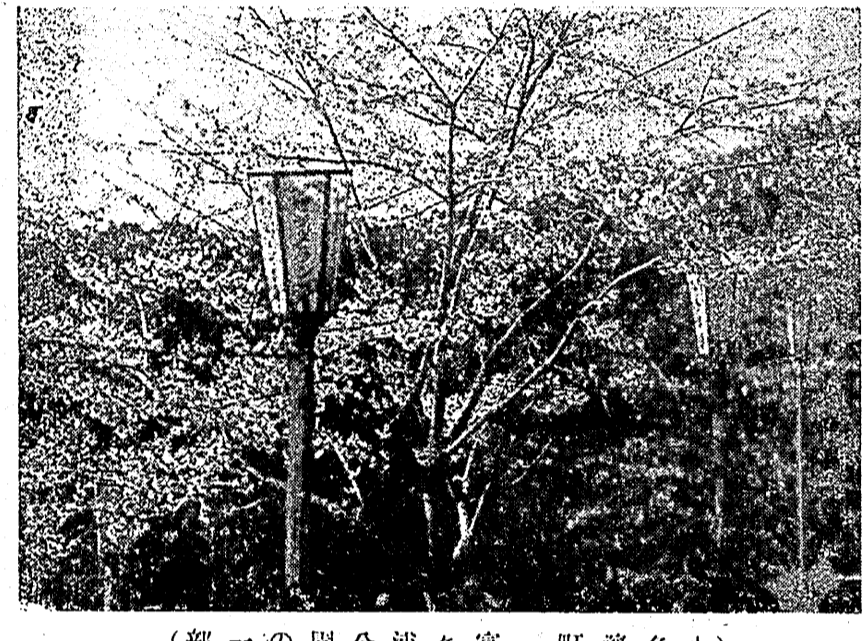


小名濱町役場

小名濱町役場
町長 小野晋平
助役 高木保
収入役 樋口速
庶務長 黒澤島雄

小名濱漁業組合
組合長 水野政次郎
磐城水産工業株式會社
福尾伊太郎
近藤安雄

郡山無盡株式會社
小名濱出張所
黒田秀雄



(部一の園公浦ヶ富 町濱名小)

平の花便り
合青年團總會、同女子青年
團大會、同遊藝大會等おま
りが開演といふところ、新
川端も殆ど満開です、ここ
からあさつてにかけての平
か平の花は絶頂に達し、町
はそれこそ大變な人出で
それに縣社のお祭り縣下聯

贊富ヶ浦公園櫻花禮讚號

小名濱町役場
町長 小野晋平
助役 高木保
収入役 樋口速
庶務長 黒澤島雄
郡山無盡株式會社
小名濱出張所
黒田秀雄
お歸りには
ゼヒ
常館へ
鈴木寫眞館

標商録登
天下
徳田
合資 濟水屋商店
總寫 濟水屋商店

小名濱運送株式會社
西丸 鎗田敏治
野口源太郎

二本松電氣株式會社
小名濱支店
支店長 初川茂藏

磐城海岸軌道株式會社
支配人 西丸猛
會計及川武夫

小名濱漁業組合
組合長 水野政次郎
磐城水産工業株式會社
福尾伊太郎
近藤安雄

社會株式産水木口
工場 濟水屋小
長 場 工
作 金 山 秋

海漁業 力印 三代義勝
海漁業 酢屋商店
海漁業 八島屋商店
海漁業 立花雄七

土木請負業
太田勝康
小名濱町 電話二〇二番

風光絶佳の富ヶ浦公園

更に大々的に計画

布川教諭の設計で明年度から着工が

富ヶ浦公園の面積は約三... 布川教諭の設計で明年度から着工が...

平署員

増俸の喜び

艦上簡閲點呼に

軍艦「嚴島」小名濱入港

産婆會

定時總會

十八日警女で

産婆會第十一會定時總會... 十八日警女で...

カフエー街

一遊するべ

咲花に魅けて既に一ヶ月... カフエー街 一遊するべ...

江名信用組合に此の成果... 児童貯金に此の成果...

申慰金

飛行協會から

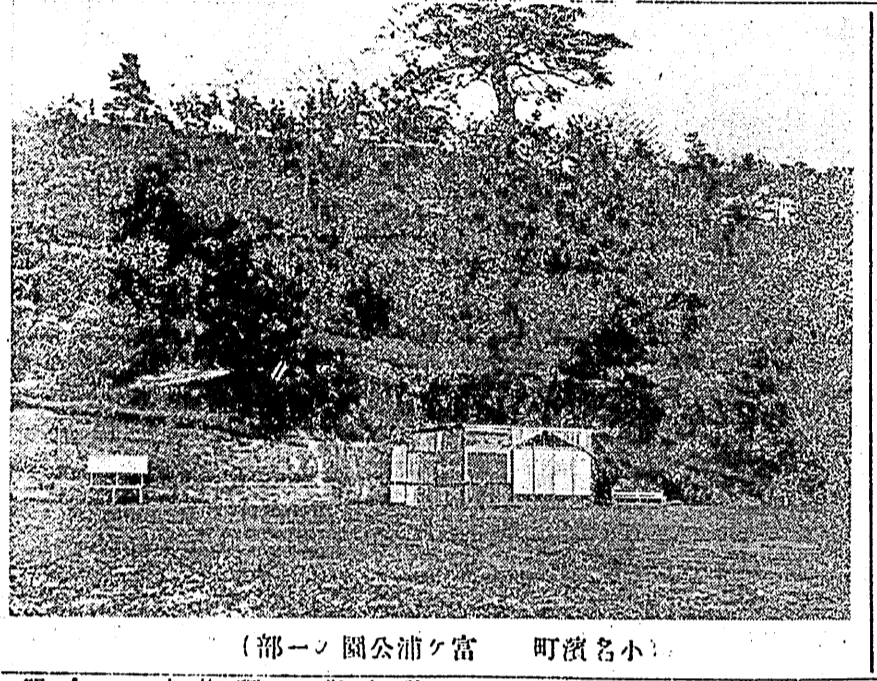
萩原申八氏

上京中、宿舎で急逝

告別式は廿日の豫定

片倉製材株式會社... 萩原申八氏は過般来上京...

局長送迎會... 山崎局長に榮轉する佐藤...



(部一) 園公浦ヶ富 町濱小

廣末の模様... いさ下味おを緒情濱名小ひせ

廣末一エフカ

酒見花お 七大は酒... 寶屋藥舖... 電話二〇四番

光香... 小名濱町下町... 電話六十二番

鶴仙渡邊酒店... 酒銘長生 釀造元 磐崎屋酒店... 電話七二番

販賣店 加藤藤屋商店... 町本町濱名小

小名濱町下町 近盛 鎌田酒店

會津屋の開店披露... 酒の美味し

小名濱西料理組合... 大ウキキ...

石井醫院... 内科・外科(整形外科) 花柳病科・皮膚科...

開店御披露... 各種時計 眼鏡販賣 菅野時計店

小名濱旅館組合... 花は小幸ホ...

磐城無盡株式會社小名濱出張所... 小川為八郎... 電話二十九番